

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	職員自主研究グループ補助事業			
	施策名称	第6章 計画の推進に向けて 第1節 行政運営			
	所管部署	総務部	職員課	研修厚生係	内線 345
	根拠法令等	武蔵村山市職員自主研究グループ助成金交付要綱			
	目的	市職員の自主的な調査研究活動を育成し、及びその普及を促進するとともに、市職員の自己啓発意欲の向上を図ることを目的とする。			SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	市政に関する事項について自主的に調査研究することを目的として、5人以上の市職員によって構成された自主研究グループに対し、その活動に必要な経費（講師への謝礼、図書・資料等の購入代金、会場の使用料等）を補助する。助成額は、1グループにつき年額40,000円以下とする。				
対象（交付先）	市職員				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	申請件数	件
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
補助金	交付金額（千円）	0			0			40				
	一般財源	-			-			40				
	国都支出金	-			-			0				
	その他	-			-			0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	240			230			231				
	所要人員（人）	0.03			0.03			0.03				
	会計年度任用職員（千円）	0			0			0				
	所要人員（人）	0.00			0.00			0.00				
合計（補助金+人件費）		240			230			271				

市民・議会等から寄せられた意見	
-	
他市等の状況	
近隣市では、三鷹市、国立市、東久留米市及び羽村市で同様の補助事業を実施していることを確認している。	

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
収入	総額（千円）	0			0	
	市補助金	-			-	
	会費	-			-	
	繰越金	-			-	
	事業収入	-			-	
その他	-			-		
総額（千円）	0			0		
支出	交際費、飲食費	-			-	
	人件費	-			-	
	事業経費	-			-	
	その他	-			-	

交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
交付金額（千円）	-
使途内訳	
割合（％）	
団体収入に占める補助金の割合	-
団体収入に占める繰越金の割合	-
交付金額に対する繰越金の割合	-

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	
		補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	
有効性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
市職員による自主研究グループが構成されなかったため実績なし。	以前から申請件数は低調だったが、数年前までは新規採用職員などを対象とした自主研究グループが構成され、調査研究活動が行われていた。現在は、市政に関する事項について、5名以上で自主的に調査研究をする市職員が減少しており、周知方法が課題となる。

今後の方針

【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
平成30年度以降、交付実績がないが、市職員の自己啓発意欲の向上を図ることが目的のため、今後も事業を継続していきたい。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		職員自主研究グループ補助事業	
所管部署		総務部 職員課 研修厚生係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、職員による自主的な調査研究活動の普及等を図るとともに、職員の自己啓発意欲の向上を図る上で一定の意義が認められる。</p> <p>他方、近年補助の実績がなく、いかに自主研究グループの結成を促進し、制度を活発化するかが課題となっている。</p> <p>よって、今後は、本事業の利用促進を図るため、活動報告書の発表や評価の機会を創出するなど達成感を高める仕組みを構築するとともに、人数要件の緩和等の制度の見直しを行い活用の障壁を下げるなどの工夫改善を求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	消防団員厚生事業交付金交付事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市消防団員厚生事業交付金交付要綱		
	目的	武蔵村山市消防団員をもって組織する武蔵村山市消防団員互助会（以下「互助会」という。）が行う厚生事業に対し消防団員厚生事業交付金を交付することにより、消防団員の相互の親睦を図るとともに福利厚生を充実を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	互助会が行う次の厚生事業に対し交付する。①共済給付金：会員の相互扶助と福利厚生、②運営交付金：本部・分団・女性部において運営交付金の交付、③厚生事業：会員及び家族に対する厚生事業、④委託事業：出初式でのふるまい委託及びラッパ隊演奏委託、⑤補助事業：家族慰労交付金			
対象（交付先）	武蔵村山市消防団員互助会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	交付実績	円
			実績	2,835,000	2,752,000	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見		
補助金	交付金額（千円）	2,835	2,752	3,186	他市等の状況 26市中17市が福利厚生事業を行っている。				
	一般財源	2,835	2,752	3,186					
	国都支出金	0	0	0					
	その他	0	0	0					
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77					
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01					
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0					
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00					
合計（補助金+人件費）				2,915				2,829	3,263

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途									
収入	総額（千円）	6,395	6,803	6,092	<table border="1"> <tr> <td>交付金額（千円）</td> <td>2,752</td> </tr> <tr> <td>本部交付金</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>分団運営交付金</td> <td>1,859</td> </tr> <tr> <td>女性部運営交付金</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>家族慰労事業費</td> <td>800</td> </tr> </table>			交付金額（千円）	2,752	本部交付金	120	分団運営交付金	1,859	女性部運営交付金	66	家族慰労事業費
	交付金額（千円）	2,752														
	本部交付金	120														
	分団運営交付金	1,859														
	女性部運営交付金	66														
	家族慰労事業費	800														
市補助金	2,835	2,752	2,933													
会費	0	0	0													
繰越金	1,472	2,913	3,159													
事業収入	0	0	0													
その他	2,088	1,138	0													
支出	総額（千円）	3,482	3,644	2,933												
	交際費、飲食費	0	81	0												
	人件費	0	0	0												
	事業経費	3,420	3,236	2,933												
	その他	62	327	0												

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か				
				市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある		
				市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当	
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない						
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当					

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
本部交付金：27,000円 各分団計：1,859,000円 女性部：66,000円 家族慰労事業費：800,000円 合計：2,752,000円	互助会の発足時に、所属する消防団員が厚生事業に係る事務を処理する体制が整っておらず、市がサポートしてきた経緯があるが、現在も体制面の不安は解消されていない。互助会において主体的な運営が行われるべきであるが、厚生事業に係る事務を担う消防団員がおらず、所管部署の負担が続いている。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

各事業の実施により消防団員相互の親睦や福利厚生を充実するため、引き続き本補助金の交付を維持していく。一方、互助会に係る事務処理等の体制が整っておらず、市がその運営のサポートを行っているため、所管部署の負担が続いている状況である。今後、所管部署の負担軽減を図れるよう検討、調整を進めていく必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		消防団員厚生事業交付金交付事業	
所管部署		総務部 防災安全課 消防係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、消防団員互助会が行う厚生事業に対し補助金を交付することにより、消防団員の結束力の強化や福利厚生の充実を図るものであり、その意義は十分に認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>また、団員の確保やモチベーションの向上にも少なからず寄与しているものと思料するが、より効果的な事業とするため、厚生事業について実績や団員の年齢構成に応じた内容に見直すなど工夫改善していくことが望ましい。</p> <p>さらに、女性団員の増加を推進していることを踏まえれば、女性部への交付金の使途や配分の見直しなどを検討することが肝要である。</p>		

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	姉妹都市宿泊施設利用者補助事業			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第1節 コミュニティ 2 交流			
	所管部署	市民部	市民課	窓口係	内線 146
	根拠法令等	武蔵村山市姉妹都市宿泊費助成事業実施要綱			
	目的	市民が姉妹都市長野県栄村を観光、保養等のために訪問し、姉妹都市宿泊施設に宿泊する際の費用の一部を補助することにより、市民と栄村民の自主的な交流の促進に寄与し、もって本市と栄村が姉妹都市として連携を深めていくことを目的とする。			SDGsの取組 17 パートナリシップで目標を達成しよう
内容	大人：1泊3,500円 小人（施設利用日において満3歳以上中学生未満の者）：1泊3,000円 年間における宿泊回数の制限なし。				
対象（交付先）	姉妹都市長野県栄村に観光や保養のため訪問して宿泊する市民				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	延べ利用者数	人
			実績	53	105	
			達成率	19%	38%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
補助金	交付金額（千円）	182	363	945	
	一般財源	182	363	945	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	240	230	231	他市等の状況 宿泊費助成制度を実施する自治体は以下の6市。武蔵野、調布、国分寺、東久留米、福生（一般施設）、昭島（岩手・宮城・福島・熊本県、北茨城市及び奥多摩町の施設）の各市。
	所要人員（人）	0.03	0.03	0.03	
	会計年度任用職員（千円）	927	988	983	
	所要人員（人）	0.69	0.69	0.69	
合計（補助金+人件費）		1,349	1,581	2,159	

交付団体等の決算予算の状況		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途												
収入	総額（千円）	0	0	0		<table border="1"> <tr> <td>交付金額（千円）</td> <td>363</td> </tr> <tr> <td>使途内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>割合（％）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>団体収入に占める補助金の割合</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>団体収入に占める繰越金の割合</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>交付金額に対する繰越金の割合</td> <td>-</td> </tr> </table>	交付金額（千円）	363	使途内訳		割合（％）		団体収入に占める補助金の割合	-	団体収入に占める繰越金の割合	-	交付金額に対する繰越金の割合
	交付金額（千円）	363															
	使途内訳																
	割合（％）																
	団体収入に占める補助金の割合	-															
団体収入に占める繰越金の割合	-																
交付金額に対する繰越金の割合	-																
	市補助金	-	-	-													
	会費	-	-	-													
	繰越金	-	-	-													
	事業収入	-	-	-													
支出	総額（千円）	0	0	0													
	交際費、飲食費	-	-	-													
	人件費	-	-	-													
	事業経費	-	-	-													
	その他	-	-	-													

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
延べ105人に合計363千円を補助した。補助金額の内訳は以下のとおり。 大人：延べ96人、336千円 小人：延べ9人、27千円	本補助金は、市民と栄村民との交流の促進に寄与するものであるが、利用者数は伸び悩んでおり、利用者の固定化が見受けられるため改善策が必要である。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、数年間利用者数が大幅に減少しているため、利用を促進するための方策が必要である。

今後の方針
 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

補助金額の見直しを検討するとともに、幅広く市民の利用を促進するためホームページでの掲載を拡充させる。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		姉妹都市宿泊施設利用者補助事業	
所管部署		市民部 市民課 窓口係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、市民と栄村民の自主的な交流の促進に寄与し、もって本市と栄村が姉妹都市として連携を深めていくことを目的としており、その意義が認められる。また、利用者数について、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したものの、今後はそれ以前の平均的な水準である300人程度まで回復する見込みであることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、適切性の観点からは、本事業が栄村との直接的な交流に寄与しているかは疑問である。また、近年、観光や保養が体験型へと変わりつつあることにも対応できていない。</p> <p>よって、将来的には姉妹都市交流を所管する部署への所管替えを検討していく必要があると思料するが、当面は、栄村で実施される体験型のイベントや活動の開催に合わせて積極的に本事業を周知するなど周知方法の工夫改善を行うことを求めたい。</p> <p>また、大人と子どもで補助額の差を設けていることについては、その意図を明確にするとともに、利用実績を分析した上で、見直しの必要性を検討することが肝要である。</p>		

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	消費生活展実行委員会交付金交付事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第3節 暮らし 1 消費生活		
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係 内線 242
	根拠法令等	令和5年度武蔵村山市みんなのくらしフェスタ実行委員会交付金交付要綱		
	目的	武蔵村山市みんなのくらしフェスタ実行委員会に対し交付金を交付することにより、武蔵村山市みんなのくらしフェスタの充実を図り、もって市民の消費者意識の向上を図る。	SDGsの取組 12 作る責任 使う責任	
内容	交付金の交付対象となる経費は、くらしフェスタの開催に要する経費のうち、①消耗品費、②会議費、③パネル作成経費、④視察研修に係るバス借上料⑤市長が必要と認める経費である。交付金の交付は、補助対象経費の実支出額から他の制度により補助を受けた額を差し引いた額と300,000円とを比較していずれが少ない方の額とする。			
対象（交付先）	武蔵村山市みんなのくらしフェスタ実行委員会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	武蔵村山市みんなのくらしフェスタ参加者数	人
			実績	73	215	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	222	251	300		参加者の7割が満足度81～100%であった。
一般財源	222	251	300		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	639	612	616		他市等の状況 26市で消費生活展を開催し、そのうち23市で行政が事業予算を負担（全額又は一部負担）している。事業予算額は、2千円～124万円。
会計年度任用職員以外の職員（千円）	639	612	616		
所要人員（人）	0.08	0.08	0.08		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	861	863	916		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	222	251	300		交付金額（千円）	251
市補助金	222	251	300			192
会費	0	0	0			2
繰越金	0	0	0			57
事業収入	0	0	0			
その他	0	0	0			
支出	222	251	300		割合（％）	
交際費、飲食費	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合	100％
人件費	0	0	0		団体収入に占める繰越金の割合	0％
事業経費	222	251	300		交付金額に対する繰越金の割合	0％
その他	0	0	0			

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効果率	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	率	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない	
性	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和5年1月14日及び15日に「防災とSDGs」をテーマとして「武蔵村山市みんなのくらしフェスタ2022」を開催した。パネル展示やフードライブ、シーグラスを利用したハンドメイド体験を実施し、215人の来場者があった。	—

今後の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

「武蔵村山市みんなのくらしフェスタ」は、「消費者問題」、「食」、「健康」、「環境」、「子ども」その他暮らしに関する様々な問題をテーマに、消費者団体やグループの日頃の活動成果を発表する場として開催している。市民の消費者意識を向上を図るため、今後も「武蔵村山市みんなのくらしフェスタ」を開催する。

		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	桜まつり交付金交付事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224
	根拠法令等	令和5年度武蔵村山市桜まつり交付金交付要綱		
	目的	桜まつりの充実を図り、もって地域の活性化に資することを目的とする。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	桜まつりの開催に当たって武蔵村山市桜まつり実行委員会に対して交付金を交付するもの。			
対象（交付先）	武蔵村山市桜まつり実行委員会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	—	—
				実績	—	—
				達成率	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—
				達成率	—	—

事業経費				令和3年度決算		令和4年度決算		令和5年度予算		市民・議会等から寄せられた意見	
補助金	交付金額（千円）	800	800	800	—						
	一般財源	800	800	800	—						
	国都支出金	0	0	0	—						
	その他	0	0	0	—						
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	765	770	他市等の状況						
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10	—						
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	—						
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	—						
合計（補助金+人件費）				1,598	1,565	1,570					

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算		令和4年度決算		令和5年度予算		交付団体等の令和4年度の市補助金の使途		
収入	総額（千円）	2,265	1,156	3,461	交付金額（千円）		800		事業経費		800	
	市補助金	800	800	800	使途内訳							
	会費	0	0	0								
	繰越金	327	356	126								
	事業収入	0	0	0								
支出	総額（千円）	1,909	995	3,461	割合（％）							
	交際費、飲食費	0	0	155	団体収入に占める補助金の割合		69%					
	人件費	0	0	0	団体収入に占める繰越金の割合		31%					
	事業経費	1,365	933	2,476	交付金額に対する繰越金の割合		45%					
	その他	544	62	830								

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
類似の補助金との統合は可能か		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会場イベントの開催は中止とし、さくら回廊ライトアップのみ実施した。 ●さくら回廊ライトアップ 野山北公園自転車道 期間：令和4年3月29日（火）～同年4月10日（日）（13日間）	—

今後の方針	
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了

成果	向上			
	維持		○	
	低下			
	コスト	削減	維持	増加

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間遊び場対策事業補助事業（遊び場用地の改善整備事業補助）				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地				
	所管部署	環境 部	環境 課	公園緑地 係	内線	262
	根拠法令等	武蔵村山市民間遊び場対策事業補助金交付要綱				
	目的	市内の自治会が行う遊び場施設の設置及び改善に関する事業に対し補助金を交付することにより児童の遊び場施設を確保する。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	補助金の交付額は、補助の対象となる費用に3分の2を乗じて得た額と5万円とを比較していずれか少ない方の額とする。					
対象（交付先）	民間遊び場を管理する自治会等					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助金交付申請件数	件
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	0	0	50		-
一般財源	-	-	50		
国都支出金	-	-	0		
その他	-	-	0		
人件費	80	77	77		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77		
所要人員（人）	0.01	0.01	0.01		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	80	77	127		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	50		交付金額（千円）	-
市補助金	-	-	50		使途内訳	
会費	-	-	0			
繰越金	-	-	0			
事業収入	-	-	0			
その他	-	-	0			
支出	0	0	0		割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-			

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
民間遊び場は市内に14施設あり、管理自治会に対して通知を送付して本事業を周知したが、申請はなかった。	毎年、市内に14施設ある民間遊び場を管理している自治会に対して、本事業を周知しているが、ここ数年は申請には至っていない。

今後の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本補助金は、平成30年度の交付実績が最後となっており、数年前に予算額を2件から1件に減らし継続している。また、交付実績はないものの管理自治会から随時相談等を受けているため今後も継続していく。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		民間遊び場対策事業補助事業（遊び場用地の改善整備事業補助）	
所管部署		環境部 環境課 公園緑地係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、自治会が管理する遊び場施設の改善整備に係る費用を補助することによりその確保に寄与するものであり、自治会の財政負担を補う観点からは、今後も継続する必要がある。</p> <p>他方、補助額が低いため、遊具の老朽化に十分に対応できているとは言えないことや、自治会の加入率の低下や高齢化の進展により遊び場の管理に係る負担が増加していることが課題となっている。また、子どもの数が減少していることや市内に児童遊園が整備されていることから、遊び場の利用ニーズは低下していると思料する。</p> <p>よって、今後は、遊び場の長期的なニーズや自治会を取り巻く環境を踏まえ、地域コミュニティのつながりを作るための効果的な利用方法について検討した上で、補助内容等の見直しを行うことが肝要である。</p>		

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	奨学資金支給事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育部	教育総務課	学事係	内線 422
	根拠法令等	武蔵村山市奨学資金基金条例、武蔵村山市奨学資金条例、武蔵村山市奨学資金条例施行規則			
	目的	市内に住所を有する者で、高等学校等に在学し、向学心旺盛にして、かつ、経済的理由による修学困難者に対して、修学上必要な学資金を支給し、もって有用な人材を育成することを目的とする。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに
内容	支給額：月額5,000円 支給期間：正規の修業期間 奨学金の支給決定の審査を行う「奨学資金審議会」の委員報酬				
対象（交付先）	高校性				



評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	奨学資金支給者数	人
			実績	60	71	
			達成率	83%	99%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
補助金	交付金額（千円）	3,644	4,349	4,454		
	一般財源	44	89	134		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	3,600	4,260	4,320		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	9,154		
	所要人員（人）	0.01	0.01	1.19		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）		3,724	4,426	13,608		

市民・議会等から寄せられた意見
令和4年9月決算特別委員会で、「定住を条件に、学生を支援するのはどうか。」との意見があった。

他市等の状況
給付型奨学金を実施している自治体は7市である（昭島市、八王子市、府中市、狛江市、日野市、小金井市、小平市）。

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
収入	総額（千円）	0	0	0		
	市補助金	-	-	-		
	会費	-	-	-		
	繰越金	-	-	-		
	事業収入	-	-	-		
	その他	-	-	-		
支出	総額（千円）	0	0	0		
	交際費、飲食費	-	-	-		
	人件費	-	-	-		
	事業経費	-	-	-		
	その他	-	-	-		

交付団体等の令和4年度の市補助金の使途

交付金額（千円）	4,349
使途内訳	
割合（％）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	内容	評価		備考
		必要である	見直しの余地がある	
公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
合計71人に4,260千円を支給した。 【内訳】 高校1年生：23人 高校2年生：24人 高校3年生：24人	平成26年度から奨学資金基金を取り崩して奨学資金に充てており、令和7年度には基金残高が枯渇してしまう。

今後の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本事業については、令和5年度以降の新たな募集を中止し、現在の奨学生が高等学校を卒業する時期に合わせて廃止することとしている。
なお、廃止に伴う新たな就学支援策の実施について検討することとしている。

今後の方針			
成果		コスト	
		削減	維持 増加
向上	維持		
	削減		
	増加		

（廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	市立小・中学校健全育成推進奨励費補助事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育部	教育指導課	指導係 内線 434
	根拠法令等	武蔵村山市立小・中学校健全育成推進奨励費補助金交付要綱		
	目的	小学校及び中学校において校長及び教職員が児童・生徒の健全な育成を図ることを目的とする。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに
内容	①校内において実施する教育活動、②家庭、地域、関係諸機関等と連携して実施する教育活動、③児童及び生徒の問題行動等に対する指導、調査、研究等、④教職員等の研修、⑤その他児童及び生徒の健全な育成に寄与すると認められる事業を補助対象とする。			
対象（交付先）	市内全小中学校			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	市内全小・中学校において、健全育成を目的として研究を実施するため、統一的な指標設定が困難	—	目標	—	—
2	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—
3	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—

補助金	事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
	交付金額（千円）	510	549	570	
一般財源	510	549	570		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	479	459	462	
所要人員（人）	0.06	0.06	0.06		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	989	1,008	1,032		
他市等の状況					—

収入	交付団体等の決算予算の状況	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	総額（千円）	510	549	570		交付金額（千円）
市補助金	市補助金	510	549	570	事業費	549
	会費	0	0	0		
	繰越金	0	0	0		
	事業収入	0	0	0		
	その他	0	0	0		
支出	総額（千円）	510	549	570	割合（％）	
	交際費、飲食費	0	0	0	団体収入に占める補助金の割合	100%
	人件費	0	0	0	団体収入に占める繰越金の割合	0%
	事業経費	510	549	570	交付金額に対する繰越金の割合	0%
	その他	0	0	0		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
市内全小・中学校に対する補助 小学校（9校） 248,930円 中学校（5校） 299,726円	補助内容の幅広さや全校に一律の補助を実施する中で事務処理の負担が、補助金額に比べて大きくなっている。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

健全育成に対する幅広い補助の実施により、各校が考える健全育成の実現という重要な側面を担っているが、全校に対する補助という現在の手法においては補助額に対する人件費の割合も大きく出ており、学校側にも事務処理の負担が掛かっている可能性が高い。各校に共通する健全育成の課題の解決に役立てられる形での補助とし、窓口の一本化等や類似の補助金への統合等を検討した上、健全育成自体への補助は継続していきたい。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		市立小・中学校健全育成推進奨励費補助事業	
所管部署		教育部 教育指導課 指導係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、市立小・中学校が実施する健全育成事業に対し補助金を交付することにより、学校ごとの自主性に応じて校内や家庭、地域等の枠組みに捉われず広く教育活動の充実に寄与していることから、一定の意義が認められる。</p> <p>他方、本事業の目的が抽象的なため類似する他の補助金との差別化が困難であることや、学校と市の双方とも補助金の申請等に係る事務負担が大きいことが課題となっている。</p> <p>よって、当委員会としても、所管課の評価と同様に事務負担の軽減を図るため他の類似の補助金との統廃合を検討する必要があると思料するが、検討に当たっては、教育施策における健全育成に係る体系を整理した上で、本事業の目的を明確にし、より効果的な事業へと発展させていくことを求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	生涯学習フェスティバル交付金交付事業					
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習					
	所管部署	教育部	文化振興課	生涯学習係	内線	652	
	根拠法令等	武蔵村山市生涯学習フェスティバル交付金交付要綱					
	目的	生涯学習活動団体がこれまで培ってきた技術や知識の発表の場を設けるとともに、体験学習を通じて市民交流を図ることを目的として開催する生涯学習フェスティバルを主催する実行委員会に対し、交付金を交付することによりその円滑な実施に資する。				SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	生涯学習フェスティバル実行委員会に対し、生涯学習フェスティバルの運営等に係る費用について交付金を交付する。						
対象(交付先)	生涯学習フェスティバル実行委員会						



評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	生涯学習フェスティバルの実施 (令和3年度はコロナ禍に伴い事業中止)	—
2	生涯学習フェスティバル参加人数 (令和3年度はコロナ禍に伴い事業中止)	人	実績	中止	実施	
			達成率	—	—	
			目標	1,500	1,500	1,500
			実績	0	1,200	
			達成率	0%	80%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額(千円)	155	400	400		—
一般財源	155	400	400		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,393	2,293	2,308	他市等の状況
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	—
合計(補助金+人件費)	2,548	2,693	2,708		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額(千円)	153	699	820	交付金額(千円)	400
市補助金	8	400	400	舞台出演団体謝礼	40
会費	0	0	0	体験ブース出展団体謝礼	24
繰越金	145	145	194	会場設営費	213
事業収入	0	151	220	食材・道具等材料費	123
その他	0	3	6		
総額(千円)	8	505	505	割合(%)	
交際費、飲食費	0	5	5	団体収入に占める補助金の割合	57%
人件費	0	64	64	団体収入に占める繰越金の割合	21%
事業経費	8	426	426	交付金額に対する繰越金の割合	36%
その他	0	10	10		

視点別の分析	公		益		性	
	必要である	見直しの余地がある	見直しの余地がある	見直しの余地がある	見直しの余地がある	見直しの余地がある
市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
生涯学習フェスティバルを開催し、日頃、生涯学習活動を推進する市民団体が実施する体験学習などに市民が参加することにより、生涯学習のきっかけづくりを行うとともに、世代間交流の推進を図った。	生涯学習フェスティバル実行委員会委員の高齢化が進んでいることから、若い世代を対象とした委員の成り手を確保する必要がある。また、開催時期や事業内容についても見直しが必要である。

今後の方針			
成果	コスト		
	削減	維持	増加
	向上		
維持		○	
低下			

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

生涯学習活動は、文化や音楽、ものづくりなど、その内容は様々であり、生涯学習フェスティバルは、その発表の場を設けるとともに体験学習を通じた市民交流を図り、市民の生涯学習を推進するためのイベントである。

同フェスティバルを市が主催する場合は制約があるため、生涯学習活動団体で構成する実行委員会に対し交付金を交付して事業を実施することにより、団体の活性化及び世代間の交流を図れることから、今後も本事業を継続していくことが望ましいと考える。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	地区ふれあいスポレク大会交付金交付事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育部	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市地区ふれあいスポレク大会交付金交付要綱		
	目的	地区ふれあいスポレク大会の開催を奨励し、もって市民相互の融和と親睦を深め、健康な心身を培うことを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	地区ふれあいスポレク大会を開催する各地区の実行委員会に対し、補助金を交付する。			
対象(交付先)	地区ふれあいスポレク大会実行委員会			



評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	地区ふれあいスポレク大会の実施 (令和3年度及び令和4年度はコロナ禍に伴い事業中止)	—	目標 実績 達成率	実施 中止 —	実施 中止 —
2	—	—	目標 実績 達成率	— — —	— — —	— — —

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
補助金	交付金額(千円)	0	0	2,561	
	一般財源	-	-	2,561	
	国都支出金	-	-	0	
	その他	-	-	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	770	他市等の状況
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.10	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	—
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(補助金+人件費)		0	0	3,331	

交付団体等の決算予算の状況		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
収入	総額(千円)	0	0	2,561	
	市補助金	-	-	2,561	
	会費	-	-	0	
	繰越金	-	-	0	
	事業収入 その他	- -	- -	0 0	
支出	総額(千円)	0	0	2,561	割合(%)
	交際費、飲食費	-	-	0	
	人件費	-	-	0	
	事業経費	-	-	2,561	
	その他	-	-	0	
団体収入に占める補助金の割合				—	
団体収入に占める繰越金の割合				—	
交付金額に対する繰越金の割合				—	

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、地区ふれあいスポレク大会の開催を中止としたため、補助金の交付実績はない。	今後、地区ふれあいスポレク大会の内容や開催方法を見直した場合、補助金の在り方が大きく変わる可能性がある。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
地区ふれあいスポレク大会は、市内を4地区に分け、地区ごとに実行委員会を組織し企画・運営を行いながら、運動会形式で開催している。しかし、近年、自治会の会員数の減少や高齢化が進んでいることから、各自治会やスポーツ協力員から大会への参加が困難との意見が市に多数寄せられている。				
また、大会については、当日の荒天や新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、平成28年度を最後に6年間にわたって開催されておらず、各地区において運営のノウハウ等が失われており、今後、安全に開催することが困難であることが懸念される。				
よって、大会の実施内容や開催方法の検討が必要であり、その結果により本補助金の在り方も大きく変わる可能性がある。				
成果	今後の方針	コスト		
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	社会教育関係団体補助事業（体育協会）		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育部	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市社会体育団体補助金交付要綱		
	目的	社会体育団体に対し補助金を交付することにより、団体が行うスポーツ振興活動を奨励し、市におけるスポーツの振興を図る。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	交付対象団体がを行い、又は参加するスポーツの普及、振興又は奨励のための事業に要する経費の一部として、補助金を交付する。			
対象（交付先）	一般社団法人武蔵村山市体育協会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	武蔵村山市総合体育大会の開催	—	目標	実施	実施
2	—	—	実績	実施	実施	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—
3	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—

補助金	事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
	交付金額（千円）	4,317	4,544	4,544	
一般財源	4,317	4,544	4,544		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	798	765	770		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	765	770		
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	5,115	5,309	5,314		

収入	交付団体等の決算予算の状況	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	総額（千円）	5,273	6,329	7,314		交付金額（千円）
収入	市補助金	4,317	4,544	4,544	事業費	2,662
	会費	180	612	770	人件費	759
	繰越金	606	943	1,730	分担金	490
	事業収入	0	0	0	会議費	15
	その他	170	230	270	消耗品費	120
支出	総額（千円）	4,330	4,599	7,314	その他	498
	交際費、飲食費	0	0	0	割合（％）	
	人件費	596	759	1,100	団体収入に占める補助金の割合	72%
	事業経費	2,133	2,662	4,410	団体収入に占める繰越金の割合	15%
	その他	1,601	1,178	1,804	交付金額に対する繰越金の割合	21%

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
体育協会により、都民大会、東京都市町村総合体育大会等の各種大会への市民選手の派遣や、本市総合体育大会の開催等、市のスポーツ振興に大きく貢献する活動が行われた。	体育協会は、令和4年度に法人格を取得しており、今後財政面での自立を促すことで、本補助金の在り方も変化していく可能性があり、状況を見守りつつ適正な補助額等を見極めていく必要がある。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

体育協会は、都民大会、東京都市町村総合体育大会等各種大会への市民選手の派遣や、本市総合体育大会の開催等、市のスポーツ振興に大きく貢献する活動を行っており、今後も継続して本補助金により支援していく必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）